

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.21
平成26年12月17日

寒い中、PTA資源ゴミ回収、ありがとうございました！

13日（土）、第2回PTA資源ゴミ回収が行われました。朝早くから寒い中、各家庭・地域から出された新聞・雑誌・ダンボール・アルミ缶・古着・牛乳パック等を回収し、その集積・仕分けを弥富市総合社会教育センターの駐車場で行いました。

PTA執行役員・PTA環境委員の皆様、お手伝いいただいたPTA会員の皆様、本当にありがとうございました。

この資源回収で得た収益金・市の補助金は、児童の学習教材備品や学習環境整備のために、有効に使わせていただきます。



【資源ゴミの仕分け作業】

全校朝礼の話より（12／15）

まず、最初に中塚先生に次の英文を読んでもらいます。

One child, one teacher, one pen and one book can change the world. Education is the only solution. Education First.

その意味を今度は、日本語で言ってもらいます。

「1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。エデュケーション・ファースト（教育を第一に）」

この言葉を誰が言ったか知っている人？

ノーベル平和賞をもらった17歳のパキスタンの少女です。マララさんは、この言葉の中で、子どもたちが、教育を受けることの大切さを力強い言葉で世界に伝えました。

知らないこと、知ろうとしないことは、その土台に教育を受けることができなかつた多くの人がいるからです。マララさんは、「文字を知り、本を読み、自分の考えをもって、他人に正しく伝えることの基になる教育の大切さ」をノーベル平和賞の授賞式で訴えました。

「一冊の本、一本のペンの力は、どんな武器よりも強い力を持つことができるということ」を、私たちは、もう一度考えるとともに、教育を受けること、学ぶことの大切さを、このマララさんの言葉から改めて深く考えることができました。

みなさんは、学校に来て、毎日勉強できることが、あたり前だと思っているかもしれません。しかし、世界の国々では学校に通うことさえもできず、毎日、苦しい仕事をしている子どもたちがいます。

私たちにできることは何なのかを、考えたり、お友達と話し合ったりしてみるといいですね。

4年生の子達は、道徳の時間にマララさんの国連演説について「ぼくたちは、なぜ、学校へ行くのか」ということ真剣に考えてくれました。（「心ひとつに」No.20掲載済み）

どうか、みなさんも今日から1日1日、1時間1時間の授業を大切にし、集中して、真剣に授業に臨んでください。

